

2025年度 公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費 実績報告書

2026年 4月 30日

北九州市立大学長 様

(所属・職名) 経済学部・教授
(氏名) 牛房義明

公立大学法人北九州市立大学特別研究推進費に係る研究実績について、次の通り報告します。

研究課題名	洋上風力発電分野における人材育成に向けた大学の役割と課題に関する調査		
交付額	690,000 円		
共同研究者	所属・職名	氏名	役割分担等
	環境技術研究所・教授	井上浩一	追跡調査、他大学・研究機関等の調査
	環境技術研究所・教授	小田拓也	追跡調査、他大学・研究機関等の調査
	国際環境工学部・教授	佐々木卓実	追跡調査、他大学・研究機関等の調査
	環境技術研究所・特任教授	三戸俊和	追跡調査、他大学・研究機関等の調査
	経済学部・准教授	姚 智華	アンケート調査・分析

1. 研究の目的

本研究では、これまでに北九州市と連携して実施した洋上風力人材育成プログラムをベースに、効果的な人材育成方法を提案することを目的とする。また、洋上風力発電人材育成では、洋上風力発電に関する技術的な研究を行う理工系だけでなく、事業の経済性、事業者と地域住民間の合意形成のあり方などを研究する社会科学系の知識を備えた多様な人材が求められることから、本研究では文理融合的、かつ、産学官連携の研究教育体制のあり方の検討も行う。

2. 研究の方法

本研究の目的を達成するために以下の3つの項目を実施した。

- ① 洋上風力発電人材育成プログラムの効果検証
- ② 洋上風力発電人材育成プログラムの追跡調査
- ③ 他大学における洋上風力発電人材育成に関する取組み調査

3. 研究成果

本研究の目的を達成するために実施した3つの項目の調査結果は以下の通りである。

① 洋上風力発電人材育成プログラムの効果検証

北九州市と2022年度から連携して実施している洋上風力発電人材育成プログラムに参加した学部生・大学院生を対象(108名)に人材育成プログラムの実施前、実施後にアンケート調査を実施した。事前事後に実施したアンケート内容は同じもので、質問項目は温暖化問題、エネルギー問題、洋上風力に関するもの、自身の意識、能力に関するもので、計15の質問事項になる。これらの質問事項に対し、回答者は「強くそう思う」「そう思う」「そう思わない」「全くそう思わない」の選択肢の中から1つ回答した。

アンケート結果としては、洋上風力発電人材育成プログラムによって、次の3つの効果を確認することができた。

1点目は、洋上風力を「魅力あるテーマ」と捉える学生の割合を概ね押し上げたこと。2点目は洋上風力関連企業への就職を検討するきっかけを与えたこと。最後は主体性・積極性などの学修態度にも肯定的変化をもたらしたことである。

② 洋上風力発電人材育成プログラムの追跡調査

北九州市と2022年度から連携して実施している洋上風力発電人材育成プログラムに参加した学部生・大学院生を対象に卒業後の進路を調査した。

卒業、修了していない学生もいるため、全ての参加者の卒業後の進路を補足することはできなかったが、回答した参加者はエネルギー関連の企業、洋上風力関連の企業などに就職していることが確認された。

③ 他大学における洋上風力発電人材育成に関する取組み調査

洋上風力発電人材育成を積極的に進めている大学は北海道大学、秋田大学、秋田県立大学、秋田国際教養大学、新潟大学、千葉大学、九州大学、佐賀大学、長崎大学である。

2022年度から資源エネルギー庁が「洋上風力発電人材育成事業費補助金」の公募を行い、長崎大学が代表機関で申請した人材育成のコンソーシアム(参加大学は秋田大学、秋田県立大学、秋田国際教養大学、新潟大学、千葉大学、本学)、九州大学が代表機関で申請した人材育成のコンソーシアム(参加大学は、佐賀大学、本学)が応募し、各コンソーシアムが洋上風力人材育成プログラムを開発し、その一部を実施している。

これらの調査から今後の洋上風力発電人材育成プログラムの方向性を提示する。

洋上風力発電事業は主に民間事業者が行うため、事業者が成り立たないと事業を行う判断はできない。そのため、洋上風力発電に関する技術的な知識を学ぶ理工系の知見だけでなく、事業の経済性、事業者と地域住民間の合意形成などを学ぶ社会科学の知識も学ぶ必要がある。しかしながら、洋上風力発電事業に必要な理工学から社会科学に関する知識を一つの教育プログラム

として提供できる日本の大学は残念ながら存在しない。そのため、今後は各大学に在籍する洋上風力発電事業関連の研究者、教員と連携して大学間で連携して教育プログラムを提供するプラットフォームを構築する必要がある。

ただし、北九州市は 2011 年から風力産業総合拠点化事業を実施しており、また、その事業の一つである響灘洋上発電事業が 2026 年 3 月から操業し始めた。このような環境は他の地域に比べて特徴的であるため、北九州市には研究教育を実施できるポテンシャルがある。今後は、そのような地の利を活かし、本学が洋上風力発電人材育成の拠点になる取り組みを進める。